

# 幸福駅 ハッピーセレモニー

# 飛び入り参加復活

帯広市内の幸福駅で行われるウエディングイベント「ハッピーセレモニー」（帯広観光コンベンション協会主催）が、29日から始まる。今年度は「幸福村」（市幸福町、三浦直美社長）がイベントの企画や運営業務を受託し、当初受け入れていた飛び入りでの参加も6月から受け付ける。内容は簡素化される半面、柔軟に受け入れながら、減少傾向にある参加者数の持ち直しを図る狙いだ。

今年は29日から

幸福駅で行われている「ハッピーセレモニー」（2017年4月）



「恋人の聖地」で知られる同駅での思い出づくりとして、2002年度にスタート。14年度から市内の旅行会社「旅の便利屋」に業務を委託し、サービスの質の向上を図ってきた。

一方で課題となっているのが、参加者の落ち込み。

度41組にとどまった。

03年度の381組をピークに200組台を維持しているが、申し込み方法が14年度から完全予約制に切り替わったと同時に、同年度は70組、15年度は38組、16年度は35組と過去最少、17年

ただ、現地でセレモニーを知って飛び入りで参加を希望する声が依然として多いことから、そうした需要を取り込むうち、帯広観光コンベンション協会が委託事業者を募集。幸福駅構内で売店を営んでいる幸福村

## 参加者減少の歯止め 期待

が手を上げた。

内容面では参列者のフレーザーシャワーを除くなど従来より簡素となるが、2種類のプランを用意。このうち、その場で衣装に着替えて記念撮影を楽しむプラン（1組3000円）については4、5月中は予約制とするが、6月から飛び入り参加にも応じる。期間は11月30日まで（水曜定休、午前11時〜午後4時）の計185日間で、冬場の実施も視野に入れていく。

年間を通して100組の参加を目標とし、29日は早速2組のカップルが参加する予定。帯広観光コンベンション協会は「幸福駅に足を運ぶ観光客がさらに増えれば」と期待している。問い合わせは帯広観光コンベンション協会（0155・22・8600）か市観光課（0155・65・4169）へ。

（小縣大輝）